

令和8年度 幼稚園概要 (令和7年10月1日の照会に基づく)

幼稚園名称		音の光幼稚園			
所在地・問合せ先		〒989-3204 仙台市青葉区南吉成4丁目13-1 TEL: 022-277-5080 FAX: 022-277-5081			
定員		105 名 (令和7年10月1日現在の在園児数: 89 名)			
令和8年度 園児募集定員		満3歳児 の入園	入園の可否	可	
			入園可能時期	満3歳の誕生日を迎えた当月から	
		3年保育(年少)		2年保育(年中)	1年保育(年長)
		30 名		若干 名	若干 名
常勤教員数		8 名			
給食		実施の有無	あり		
		実施日	週 4 日 (月・火・木・金)		
		調理場所	園外		
通園バス		あり	主なバス 運行範囲	①西中山、国見ヶ丘方面 ②愛子中央、錦ヶ丘方面 ③長命ヶ丘、中山方面 ④愛子東、落合方面 ⑤みやぎ台、高野原方面 ⑥広瀬町、八幡方面	
登園日・教育時間		月曜日～金曜日 8:30～14:00			
休 業 日	長期休業日	春休み	3月 20日 ～ 4月 8日		
		夏休み	7月 19日 ～ 8月 24日		
		冬休み	12月 20日 ～ 1月 7日		
	その他休業日	土曜日・日曜日・祝日・秋季休業日(2日間)・開園記念日(5月2日)・行事の振替休日(年3回位)			
未 就 園 児 教 室 ・ ク ラ ス	実施の有無	あり			
	未就園児教室名	ひよこ組			
	主な活動内容	・親子で本園の保育体験(季節の歌、制作活動、紙芝居、読み聞かせ等) ・専任の講師によるリトミック、英語、体育のレッスン体験 ・同じ年代の子を持つ保護者同士の交流の場の提供 ・園庭、ホールを開放し、遊び場の提供			
	対象年齢	活動回数	活動時間	定 員	
	2～3歳児	月 1回 不定期 (年11回程度)	10:00 ～ 11:00	30 名	
		月 回 曜日	～	名	
		月 回 曜日	～	名	
	その他	幼稚園の運動会への参加、年度末にミニ発表会を行います。			
	料 金	入会金 5,000円(入園申込金に充当) 毎回 200円			
	利用方法	登録制 ホームページ又は電話にてお申し込みください			
特別支援教育		受入れの可否	応相談		
		方 針	集団での保育が可能な場合は、基本的に受け入れるようにしています。		

保育料等費用	無償化対象(※1)	保育料(月額)	全額無償となります。	
	無償化対象外(※2)	入園時費用	入園申込料	5,000 円
			入園料	50,000 円
			制服・制帽・カバン類	約40,000 円
			個人用品類	約20,000 円
		その他月額費用	給食費	(1食) 350 円
			通園バス維持費	(利用者のみ) 4,000 円
				円
				円
	その他費用	施設維持費	(毎年4月に納入) 20,000 円	
		円		
預かり保育	早朝預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	平日、長期休業日(月～金) 7:30～8:30 10名	
		料 金(※3)	日額 200円	
	通常日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	平日(月～金) 午前保育日 11:30～18:30 30名 通常保育日 14:00～18:30 30名	
		料 金(※3)	1時間 200円 月極利用 月額 10,000円	
	休業日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	長期休業日(月～金) 7:30～18:30 30名	
		料 金(※3)	通常日と同じ	
	実施しない日	土曜日、日曜日、祝日、お盆、年末年始		
	新入園児の入園式前の利用(4月1日から)	否		
	卒園児の卒園式後の利用(3月末まで)	可		
◆◆幼児教育・保育の無償化について◆◆ ※1 保育料については、全額無償となります。 ※2 実費として徴収される費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は無償化の対象になりません。 ただし、年収360万円未満相当の世帯の子どもと第3子以降の子どもは、副食(おかず、おやつ等)費用の減免制度があります。 ※3 預かり保育の利用料は、施設等利用給付認定(新2号・新3号)を受けた子どもを対象に、利用日数に応じて日額450円(3～5歳児クラスは月額上限11,300円、満3歳児は月額上限16,300円)まで無償となります。 ⇒ 詳細は、仙台市ホームページ「幼児教育・保育の無償化について」をご覧ください。 https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html				
児童の安全確保に向けた取り組み				
卒園児の通う主な小学校		南吉成、吉成、国見、錦ヶ丘、広瀬、大沢、中山 各小学校 他多数		
その他(特色など)		音楽保育を中心に、知育、体育を取り入れ、知・情・体(あたまとこころとからだ)三位一体の総合幼児教育を実践。		